

区議会だより

No 9

足立区議会事務局
☎ (882) 1111

岡崎区長三選される 第1回臨時会

岡崎区長の任期満了により次の区長をきめる昭和43年第1回臨時会は議員の請求により、昭和43年11月19日開会されました。

第1日目はこの臨時会の会期を十日間と決めて、まず特別区の区長は都知事の同意を得て選任するという法律の規定により、岡崎前区長を区長候補者とした議案を提出しました。

この議案に対し社会党の鈴木伸二議員から、現在の区長の選任制度に反対であり、



区長選任の起立採決

第1回臨時会

表決に加わることは出来ないという趣旨の反対討論が行なわれ、公明党の永島安三議員から積極的な区政を実現するようにという趣旨の賛成討論があり、共産党の細井宥司議員から区長を選ぶには公選が本筋であり、現行制度は認めない。さらに岡崎区長に反対であるという趣旨の反対討論が行なわれたのち、社会・共産両党はこの制度に反対だからということで採決に加わらず退席しました。

採決の結果は自民党、公明党の賛成により岡崎十止雄君を区長候補者として選定いたしました。

第2日目は岡崎十止雄君を区長に選任することに都知事から同意がありましたので、11月26日に本会議が開かれ、鈴木武次議員から提案理由の説明ののち、鈴木伸二議員からこの議案は区長公選制にもとるもので、採決には加わらないという反対討論があり、社会・共産両党退席のあと、自民・公明両党の賛成で岡崎十止雄君を足立区長に選任して休会いたしました。

会議再開後、区長から就任の挨拶(要旨別掲)ののち、第1回臨時会は閉会いたしました。

区長のあいさつ

本日三たび足立区長にご選任いただきましたことは身に余る光栄に存じます。

本区は年ごとに増大する行政需要の中で、昭和41年以降足立区行政施設5か年計画を立て、諸施設の推進を順調にはかつてまいりました。

残されました今後2か年間の計画事業につきましても、計画年度内完成を目指して努力してまいりたい。

さらに本区将来の発展に備え、長期的視野にたつて生活環境の整備、青少年の健全育成、社会福祉の充実、この三本の柱を重点施策として進めてまいりたいと存じます。とくに発展著しい堤北地区の開発のため、舍人流通センター設置の計画に並行して、区画整理事業の全面的推進をはかり区が単独で実施できない面については区議会と相協力し、国、都、関係機関に強力に要請し、中心区部との格差を是正し、本区百年の基礎を築き上げたい所存であります。

区長選任に対する各党の意見

足立区長の任期満了で、後任区長を選ぶにあり、各党の立場が次のように表明されました。

【自民党】 後任区長の選任は区議会の重要な問題であり、わが党においては慎重な検討を加えてまいりました。このことは区行政の責任ある推進者となるべき重要な使命をもつ長を選任するのに当然の配慮であると存じます。

近時、急速に発展する本区は、増大する行政需要に対処しなければならぬときでもあり、区長候補者として行政経験豊富な岡崎十止雄君を選定することが、住民福祉の立場から最適任者であると確信いたします。足立区を知り、足立区とともに歩まれた同君こそが適任者であると考えます。

【社会党】 23区議会では区長を公選制にすべきであるという決議をしております。なぜならば区長を公選にせず任命制にするならば、今日の足立区議会にみられるように候補者の意見も政策も区民が知ることなく行なわれるのであります。私もは現行制度のもとでも、練馬方式のように住民が候補者を選び、その最高得票者を議会が選任するという方法でも住民の声を反映することができると考えております。今回の推せん方式は広く人材を求めるといいますが、議員2名以上の推せんという形をとり、しかも自民党の議員の意見反映できめられたと言っても過言ではありません。われわれは一日も早く区長公選を実現すべきであるという態度を表明し、住民の声も聞かず、住民に候補者の意見も聞かせず、議会のみで、しかも推せん方式で選ぶといふやり方に我が党は賛成することができません。

【公明党】 本日、新区長選定が行なわれますが、公明党は他区に見られる派閥争いから空白期間を生み、区民に多大な迷惑をかけることがないよう他党に協力を求めてまいりました。岡崎十止雄現区長を新区長に選定するにあたり次の要望事項を付して賛成いたします。

新区長は区民の貴重な税金を浪費することのないよう世間に批判を受けている宴会等は慎まれ、区政運営についてはサーブミス第一とし、建設的な意見を大いに用い清新積極的施策を行ない区民の要望に誠実な態度でこたえ、人事面での公平を期されたい。

【共産党】 区長選任の問題について反対の立場から意見をのべたいと思います。現在全国市町村の首長は公選で選ばれており、当区にとつても54万人に本当の地方自治を保障していくためには当然公選で選ぶということが区民に密着した区政が実現出来ると思ひます。岡崎区長は間接選挙という特に自民党の推せんという形で、自民党の目の色をうかがわなければ施策を決定できない。これがこのたびの一方的な報酬・給与値上げの中で典型的に浮きぼりにされています。従つて私達はあくまで公選の立場で進めて行くことを主張します。

岡崎区長三選については、報酬・給与値上げの直接的責任者であり、庁舎建設にかむ敷地の問題もあり、田牛田堀の事態を放置して行政上の怠慢、花畑東部区画整理組合認可について責任回避の態度などから岡崎三選に同調するわけにはまいりません。

10月12日 各党派幹事長会
岡崎十止雄足立区長の任期が11月20日をもって満了するため、後任の区長候補者選定方法についてどのような方法をもって選定するか本日は結論を見合せ、今後十分各党派において意見調整のうえ、次回幹事長会に意見をもちよることに決定した。

10月25日 各党派幹事長会
区長候補者選定について各党派の意見発表があり、次の事項を申し合わせ運営委員会にはかることに決定した。(1)区長候補者については、公募方法か推せん方法かいずれかを採用することとし、また第1回臨時会の招集日も検討する。(2)区議会だより第8号に区長の任期の満了とその選任方法が各党で話し合われていることを掲載する。

11月2日 議会運営委員会
区長候補者の選定方法は議員2名以上の推せん方法と決定し、第1回臨時会議員請求をもって11月19日に招集するよう区長に要請する。

区長候補者の人材を広く求めるため区議会だより臨時号を発行しPRに努めることにする。

11月16日 議会運営委員会
本日議長あて自民党議員有志19名が推せんする現区長岡崎十止雄君1名の推せん届を受理した旨議長より報告があり、同君を自民党議員団31名の全員が推せんする旨同議員団幹事長鈴木武次君から報告があった。

11月19日 議会運営委員会
第1回臨時会の会期は、11月19日から28日までの10日間と決定し、区長候補者選定の議案の提出者は自民党議員団全員、提案理由説明者は同議員団幹事長鈴木武次君が行なう旨の報告があった。

区長候補者選定の議案の審査方法は委員会付託を省略し、引き続き討論に入り社会党区議団幹事長鈴木武次君の反対討論、公明党幹事長水島安三君の賛成討論及び共産党区議団長細井有司君の反対討論を行なったのち表決することに決定する。

11月19日 区議会臨時会(一日目)
午後1時15分開会。議員提出第9号議案東京都足立区長候補者選定についてを議題とし、提案理由説明後討論を行ない起立表決の結果出席議員42名(社会党区議団9名、共産党区議団3名退席)の全員をもって区長候補者に岡崎十止雄君を選定した。

11月20日
区長候補者を定めたので、地方自治法の規定により知事の同意を求め、文書を提出する。

11月22日
東京都知事から11月21日付をもって区議会議長あてに、岡崎十止雄君を足立区長に選任することに同意する旨の文書を受理した。

11月26日 議会運営委員会
議長より同意を受理した旨を報告し、引き続き区長選任に関する議案の提出者は自民党議員団全員、提案理由説明者は同議員団幹事長鈴木武次君が行なう旨報告があった。

区長選任の議案の審査方法は委員会の付託を省略し、引き続き討論に入り社会党区議団幹事長鈴木武次君の反対討論終了後表決することに決定する。

11月26日 区議会臨時会(二日目)
午後1時13分開会。議員提出第10号議案東京都足立区長選任についてを議題とし、討論を行ない起立表決の結果、出席議員40名(社会党区議団8名、共産党区議団3名退席)の全員をもって足立区長に岡崎十止雄君を選任した。

区長のきまるまで